



上司が

後編②

JOSHI GA KOI WO

信じないを

木成あけび

KIKARI AKEBI

SHINJINAI

これで
最後にしよう

いずれ
世に出る
彼の方から
切られる前に

私から
終わらせたかった

何回も
似たような
葛藤をして

自分の感情の
都合ばかりで

ドン

だから



榎木くんが
怒るのは
判っていたけど…



…それで？

フッ



久しぶりに
会ったと思ったら
別れ話ですか？

確かに俺も…

え…？

別れ話って…

私達付き合っ
ていたの…？



俺の言葉も
行動も
自分の事も

何も信じて
いないんだ

榎木は愛されて
育った典型的な
感じがするよな

…なんですか
それ？

煽ってる
訳じゃないぜ？

自然に人の
善意を信じてる
っていうか…

…そう必死さが
あまりないんだ

…必死？

自分の願いが
届かなかつたり
歪められた
経験がないんだなつて

そういう
恵まれた感じが
自然に染み付いてる



榎木！
そんな演技じゃ
客に届かねえぞ！

もっと
全身使え！

はいっ

甘いんだよ
もっと必死になれ

客がこっちの
思惑汲み取って
くれると思うな

伝える事を
惜しむな！

…榎木くん？

…好きです



あなたに俺が
伝えたい事全部込めて
演じてみせますから

好きです
里見さん

好きです



…舞台
観に来て下さい

アッ

…え？

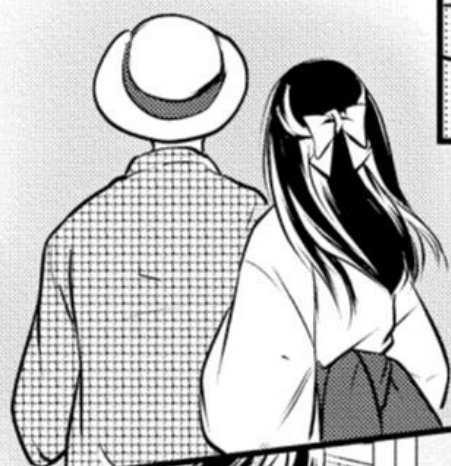


家同士の確執で
引き離された
男女のストーリー

運命の恋に
猛進する
二人を描く…か



家柄の違いで
引き裂かれてしまう
愛し合う2人



榎木くんは
ヒロインの
婚約者役で

表にあまり
出さなかったが
密かに幼い頃から
ヒロインを慕っていた

待ってくれ





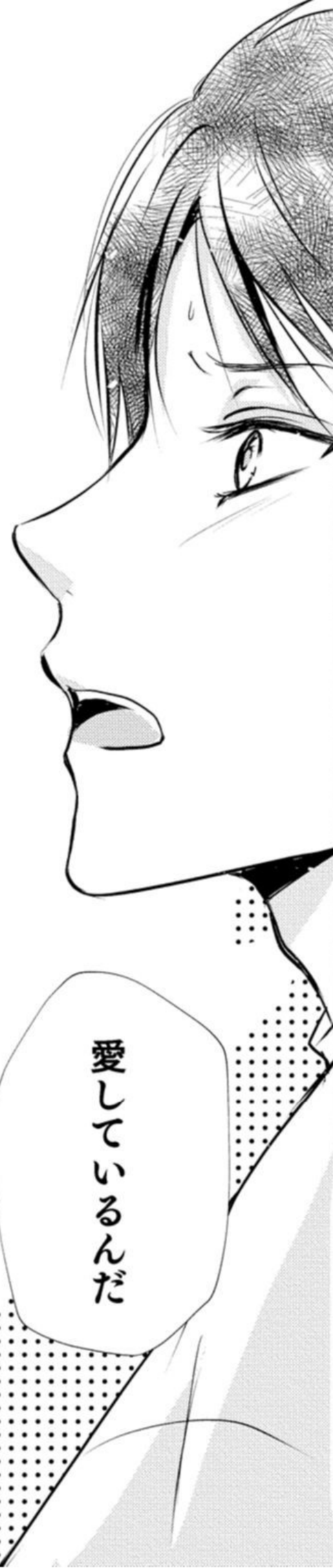
本気で
あの男の所へ
行くのか？



ええ
本気よ



だって貴方は
本当は家が大事で
私の事なんか好きじゃ
ないんでしょ？



違う

傍にいれば
伝わると思って
いたんだ

俺は俺なりに
キミの事を

愛しているんだ



愛しているんだ...

届け

届け

...どうして私は

自分が他人に
伝えたい事が
伝わらずに
泣いた事があるのに

榎木くんの
気持ちを聞こうと
しなかったのだろう

…ましてや
いくらコミュ力
高いと言っても
年下の部下だ

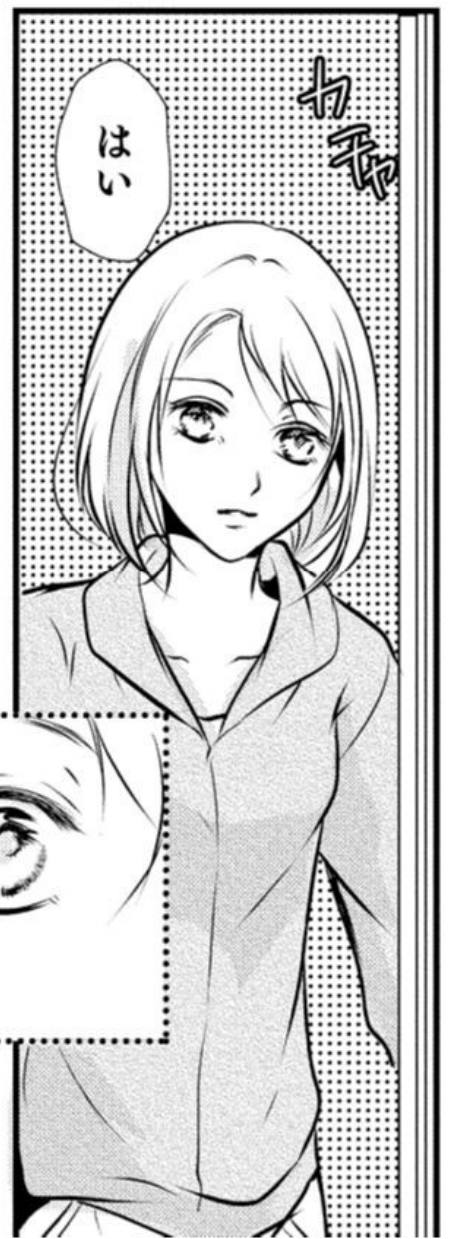
多分彼だつて
思うようには
出来なかった

相手の気持ちを
疑ってばかり

今度は
私から

彼に







改めて
お願いします

好きです
榎木くん

私を愛して
くれませんか？

好きです

私も

好きです

うん

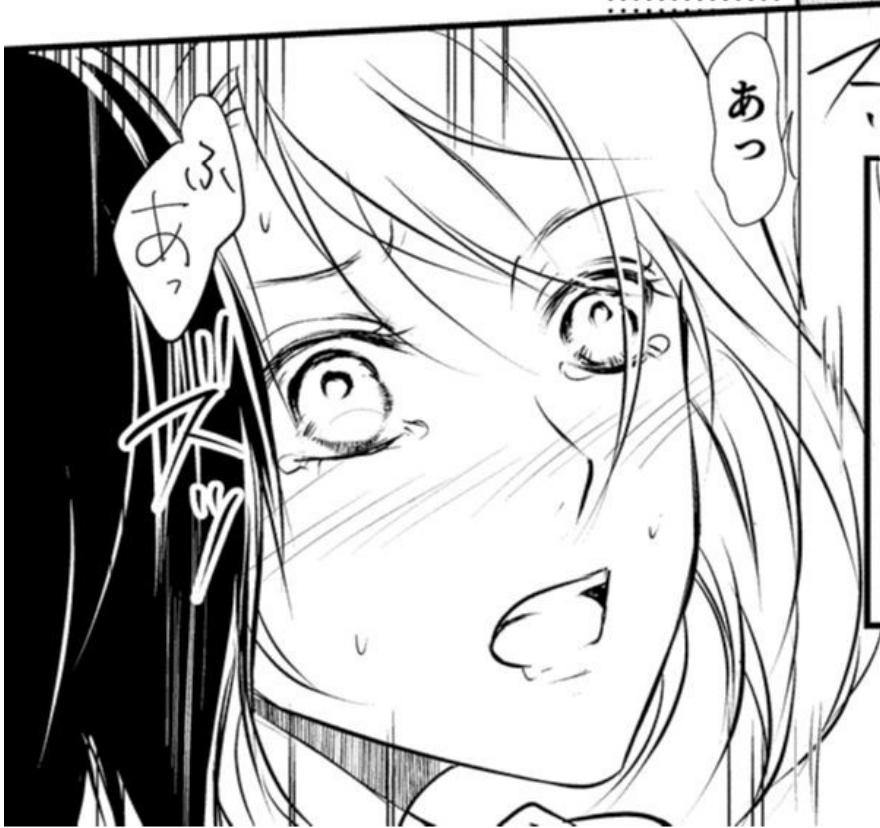
…里見さん

その

明日は

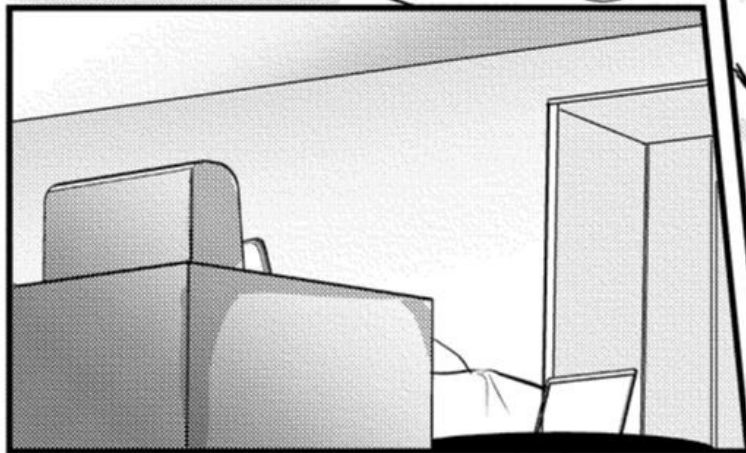
ずるいなー















んっ…

あっ



…だって里見さん
物欲しげで…



好きでしょ？

キミが
好きだよ



…っ

好きっ！

ああ

あ



気持ちを晒して
抱き合うって

なんて
気持ちいい



アハハ

…おはよう
ございます

おはよう
ございます

先に起きてても
良いのに

狭いぞ

…いや
なんか動いたら
落ちそうで

シングルベッドだし

好きだと
伝え合って

めでたし
めでたし

すぐに
そう思える程
私は素直じゃ
ないし

現実だって
甘くない



多分私も彼も
そこまで
盲目的では
ないけど

せめて相手を
信じられるように
歩み寄りたいと思う

私は



この恋だけは
信じたいのだ

End



2019年7月1日発行

上司が恋を信じない 後編②

著者：木成あけび
©kinari akebi2019

発行所／株式会社インテルフィン

発行人／今本勝行

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-55-2 鈴木ビル4階

©Intelfin Inc.2019

本書に関するお問い合わせ、ご要望、ご感想は、
公式ホームページ・twitterまでお寄せください。

HPアドレス ▶ <http://www.intf.jp/AmarE/>

twitterアカウント ▶ @intf08AmarE

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること及び、
有償無償に関わらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。

なお、個人利用以外の複製等を行った場合、著作権法により処罰されます。
また、個人利用であっても、コピーガードを解除しての複製は、法律で禁じられています。